



### キャリア教育 ちょこっと研修 その28

#### 『働く目的—与えるものは与えられる—』

キャリア教育を進めていく上で、「なぜ働くのか、働く目的は何か」という問いに対して全ての教職員が熱く語るができるのは素晴らしいことだと思います。働く目的を考える上で、長野県の上田情報ビジネス専門学校の比田井和孝副校長の講演をDVDにした『私が一番受けたいところの授業』から学ぶことがたくさんありますので、その内容を紹介させていただきます。

#### 1. 働くのはなぜ？働く目的は？—必要とされる喜び、幸せな人生のため—

『働く目的は何ですか？』と聞けばたいいてい人は『家族を養うため』、『お金を稼ぐため』と答えることが多いと思うのですが」と前置きして、働く目的について比田井先生は以下のようにお話しされています。

働く目的が家族を養うためにお金を稼ぐのなら、そのために必要なだけの収入があれば十分となりますが、それでは十分ではないですね。人は欲しいものを買いたいし、旅行にも行きたい、おいしいものも食べたいものです。こうやって突き詰めていけば最終的には『働く目的は幸せな人生を送るため』に行き着きます。それでは『幸せな人生』とは一体どのような人生なのでしょう。それは『人から必要とされる人生』です。

その後、4つの『じんざい』についてのお話があります。

#### 2. 4つのじんざい—人間性で評価される『人財』になりたい—

『人罪』・・・いるだけで迷惑な人

『人在』・・・いてもいなくても影響のない人

『人材』・・・いてくれると役に立つけれど、その人がいなくなっても、その人の代わりはいくらでもいる人

『人財』・・・この人の代わりはいない人。いてくれるだけで感謝される人

さて、『人材』と『人財』の違いはどこにあるのでしょうか。たくさんの資格をもっている、資格をもっている人は世の中にはいくらでもいる。つまりその人の代わりはいくらでもいる。しかし人間性の高い人は多くいない。人間性で仕事ができたら代わり的人はいない。だからこそ、人間性を高めていくことが大切と、比田井先生からお話がありました。その後、人間性についてのお話があります。

〈次号に続く〉

(文責 嶋田暢也)